



2月の園だより

令和6年2月1日
大津市立晴嵐保育園

厳しい寒さが続き、春が待ち遠しい今日この頃ですが、心と顔を上げると梅のつぼみが膨らみ始め、少しずつ春の足音が聞こえてきています。子どもたちは寒さに負けず、元気いっぱい体を動かして遊んでいます。一人一人の体調に気をつけながら健康に過ごせるようにしていきます。

行事予定

月	火	水	木	金	土
			1 安全点検日 歯科健診 (未受診の子どものみ)	2 節分の集い 	3 いわし焼きを見たり、豆(紙で作った)まきをしたりします。
5 身体計測 (すずらん組)	6 お楽しみ会 (職員劇)	7 身体計測 (ひまわり組) 園文庫：貸出日	8 身体計測 (たんぽぽ組)	9 発表会予行会	10
12 振替休日	13 身体計測 (あやめ組)	14 身体計測 (すみれ・れんげ組) 園文庫：貸出日 ☆あそびの広場	15 安全点検日	16	17 発表会 お弁当の日
19 避難訓練	20 発表会 アンコール公演	21 園文庫：貸出日 ☆らんらんサロン	22 誕生会	23 天皇誕生日	24
26	27 ☆おしゃべり広場	28 園文庫：貸出日	29 新入児説明会	避難訓練は予告なしで行います ☆子育て支援事業です	

17日(土)発表会

一部
すみれ・れんげ・あやめ・たんぽぽ組
9:00~10:00

二部
ひまわり・すずらん組
10:15~11:30

20日(火)アンコール講演
17日に参加できない方、祖父母の方など
時間や内容は17日(土)と同じです。
楽しみにお待ちしております。

3月の予定

■継続児説明会(0~4歳児クラス)

3/7(木) 16:30~

3/12(火) 17:30~

※いずれかの日程にご都合をつけていただき、ご参加ください。

■3/22(金) 保育証書授与式(卒園式)5歳児

■3/30(土)、4/1(月)、4/2(火)

年度末・年度始めの家庭保育協力期間となりお弁当の日になります。ご協力をお願いします。

■4/3(水) 入園式

引き渡し訓練 1/19(金)

お忙しい中ご協力をいただき、ありがとうございました。実践的な訓練をすることができ、改めて訓練の大切さと日頃からの災害への意識を持つことの重要性を感じました。どのような状況においても、安全に避難できるよう、日頃から気を付けたいと思います。

「豆まき」

おにはそと ふくはうち
ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ
まめのおと
おにはこっそり にげていく



おにはそと ふくはうち
ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ
まめのおと
はやくおはいり ふくのかみ





～子どもの人権について～



子どもの権利条約（子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約）が1989年の第44回国連総会において採択され、1990年に発効しました。日本は1994年に批准しました。子どもも大人と同様ひとり人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利が定められています。

子どもの権利条約の4つの原則

差別の禁止
(差別のないこと)

子どもの最善の利益
(子どもにとって最もよいこと)

生命、生存及び発達に
対する権利
(命を守られ成長できること)

子どもの意見の尊重
(子どもが意味のある参加ができること)

すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

子どもに関すること
が決められ、行われ
る時は、「その子ども
にとって最もよいこ
とは何か」を第一に
考えます。

すべての子どもの命
が守られ、もって生
まれた能力を十分に
伸ばして成長できる
よう、医療、教育、生
活への支援などを受
けることが保障され
ます。

子どもは自分に関係
のある事柄につて自
由に意見を表すこと
ができ、おとなはそ
の意見を子どもの発
達にに応じて十分に考
慮します

みんなちがって、
みんないい。
一人一人の個性を
大切にします。

子どもたち一人一人
にとって、一番よいこ
とができるように、頑
張ります。

子どもの命が守ら
れ、安心して育つ
ことができるよう
お手伝いします。

困っていることや
心配していること
をいつでも話して
ください。

すべての子どもはかけがえのない大切な存在です。子どもの権利条約には子どもは独自の権利をもっていて、周りの大人が子どもの権利を守りながら育てていくことが大切だと記されています。

保育園では子どもたち一人一人を大切にすることによって、幸せを実感できることを願い、全職員で「人権研修」を行い人権意識を高めています。

今回の人権研修では、子どもの気持ちに寄り添う保育についての事例をグループで検討しました。保育者は一人一人の子どもに思いを寄せ、子どもとの生活を共にすることによって、子どもの気持ちや欲求などの目に見えない心の声を聴き、その子どもの内面を理解していくことが大切です。そうして、子どもたちが保育者との信頼関係に支えられて自己を発揮すると共に友だちと関わりを深め、互いに思いを主張して折り合いをつけながら遊ぶ体験をし、自分の気持ちを調整しつつ関係をつくることできるように援助していきたいと思います。

また、子どもたちに個性や多様性を尊重する大切さを伝え、一人ひとりが認め合える保育園を目指していきます。

